

2024年3月期 | 第110期

第3四半期 **決算説明資料**



2024年2月9日
フタバ産業株式会社

FUTABA



1. 2024年3月期 第3四半期 決算概況

2. 2024年3月期 通期業績予想

参考資料

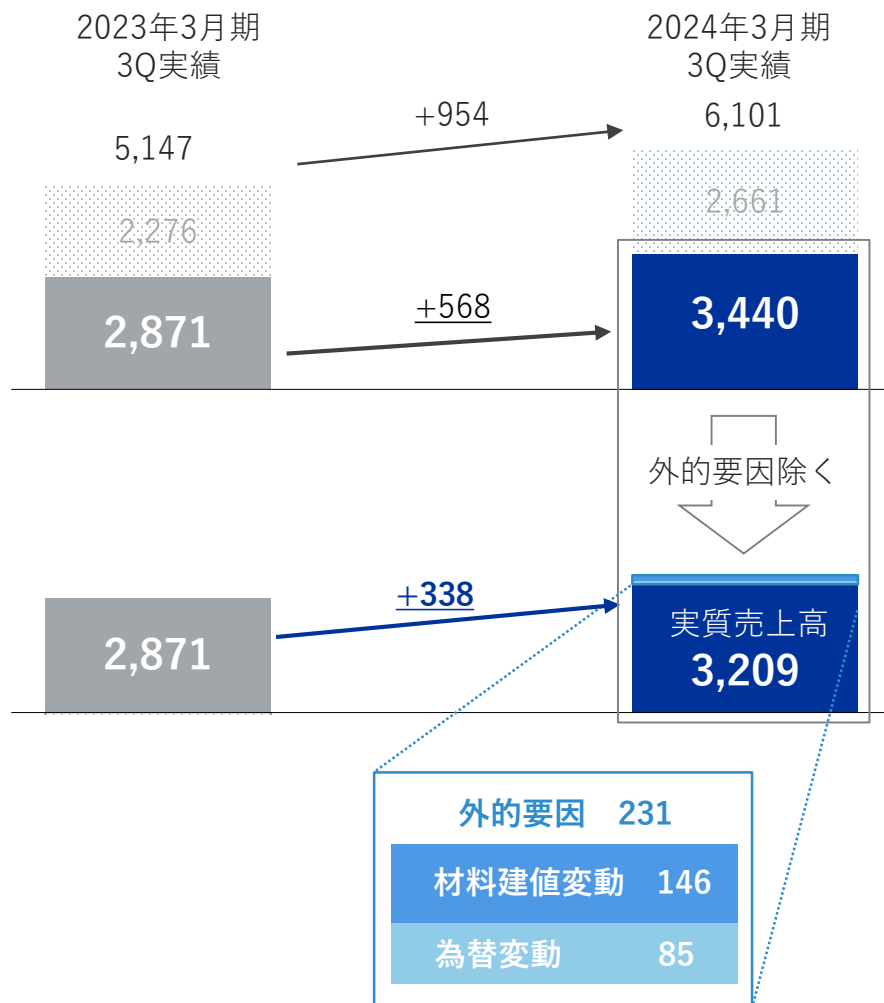
単位：百万円

	2024年3月期 3Q実績	2023年3月期 3Q実績	増減	増減率
売上高 [支給品込み]	610,166	514,747	+95,418	+18.5%
[支給品除く]	344,029	287,188	+56,841	+19.8%
営業利益	16,009 (2.6%) (4.7%)	2,472 (0.5%) (0.9%)	+13,536	+547.4%
経常利益	15,609 (2.6%) (4.5%)	2,434 (0.5%) (0.8%)	+13,174	+541.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	10,765 (1.8%) (3.1%)	665 (0.1%) (0.2%)	+10,100	—
() 内は売上高比率を表示 上段：支給品込み 下段：支給品除く				
為替レート (1ドル)	143.3 円	136.5 円	6.8円の円安	

◆ 売上高

■ 売上高(支給品除く) 単位：億円

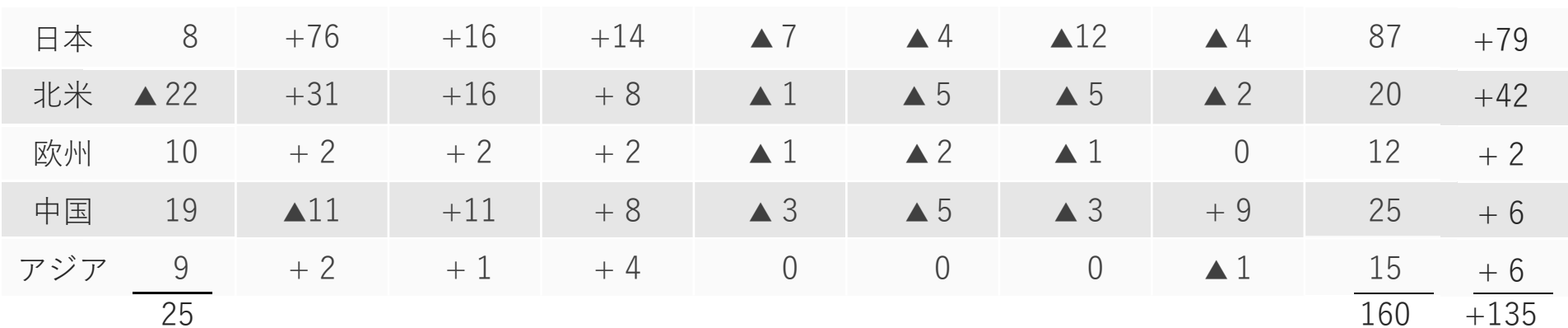
▨ 支給品金額



- ・ 売上高は支給品込みで +954億円の増収
- ・ 支給品除く売上高は、+568億円の増収
- ・ 材料建値変動、為替変動影響を除くと
実質売上高は、+338億円 〈+11.8%〉の増収

- ・ 支給品とは
得意先から有償支給される触媒等の部品
支給品を含む製品の売価には、支給品額が含まれており、利益影響はない
- ・ 材料建値変動とは
市況の変動により、材料の仕入れ単価と
売価の内材料費分が同額変動すること。
売上と原価が同額変動するので、利益影響はない
- ・ 為替変動影響とは
海外子会社の財務数値を円換算する際、
前期と当期の為替レートの差分 売上等が変動すること

增益要因
 減益要因



1. 2024年3月期 第3四半期 決算概況

2. 2024年3月期 通期業績予想

参考資料

3Q実績及び4Qの足元の状況を踏まえ、10/30公表の通期業績予想を上方修正

単位：億円

	2024年3月期 今回予想	2024年3月期 前回予想(10/30)	増減	増減率	2023年3月期 通期実績	増減
売上高	8,100	8,100	－	－	7,080	+1,019
[支給品込み]						
[支給品除く]	4,550	4,550	－	－	3,972	+577
営業利益	190 (2.3%) (4.2%)	150 (1.9%) (3.3%)	+40	+26.7%	76 (1.1%) (1.9%)	+114
経常利益	180 (2.2%) (4.0%)	140 (1.7%) (3.1%)	+40	+28.6%	77 (1.1%) (2.0%)	+102
親会社株主に 帰属する 当期純利益	120 (1.5%) (2.6%)	100 (1.2%) (2.2%)	+20	+20.0%	105 (1.5%) (2.7%)	+14

() 内は売上高比率を表示 上段：支給品込み 下段：支給品除く

為替レート (1ドル)	140.0 円	140.0 円	135.5 円
----------------	---------	---------	---------

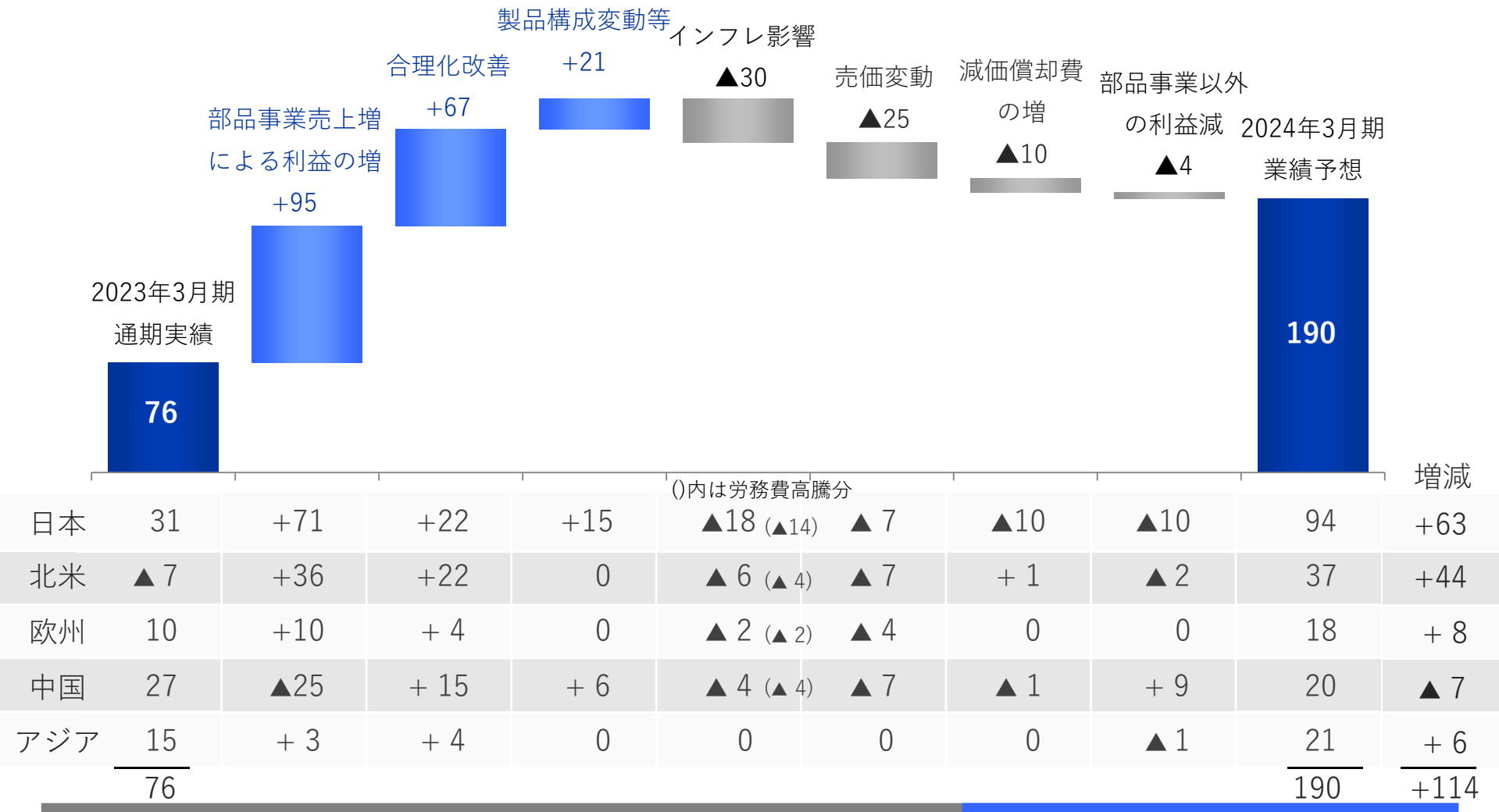
営業利益の増減分析

営業利益の増減 +114億円 (76億円 → 190億円)

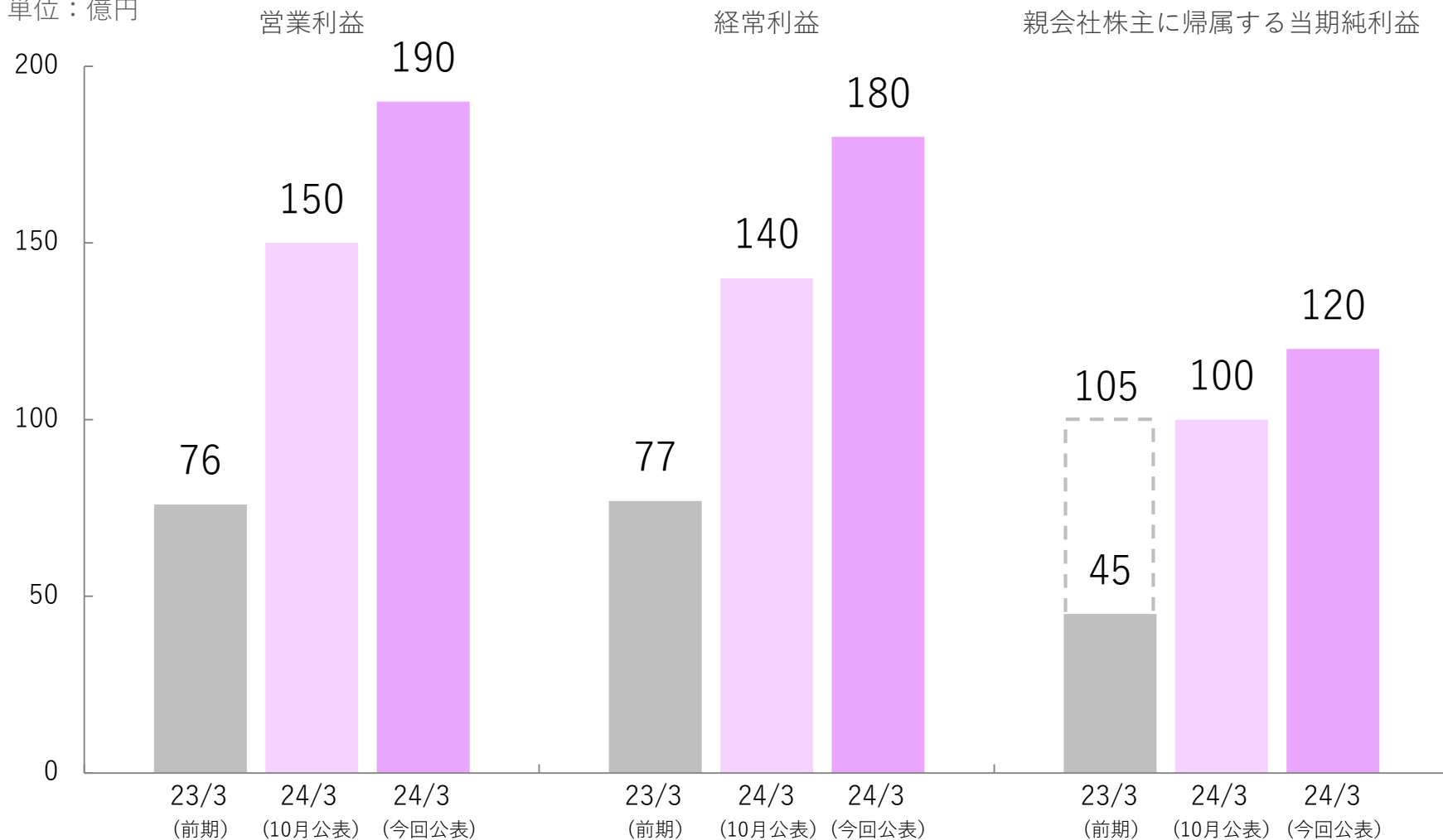
単位：億円

増益要因

減益要因



単位：億円



前期での繰延税金資産計上に伴う法人税等調整額

60億円を除くと当期純利益は前期比75億円増益

1. 2024年3月期 第3四半期 決算概況

2. 2024年3月期 通期業績予想

参考資料

セグメント別売上高と営業利益 支給品込み

10

単位：百万円

		2024年3月期 3Q実績	2023年3月期 3Q実績	増減	増減率
日 本	売上高	280,352	216,486	+63,865	+29.5%
	営業利益	8,672 (3.1%)	791 (0.4%)	+7,881	+995.6%
北 米	売上高	165,494	122,638	+42,856	+34.9%
	営業利益	1,980 (1.2%)	▲2,244 (▲1.8%)	+4,225	—
欧 州	売上高	55,902	52,460	+3,442	+6.6%
	営業利益	1,217 (2.2%)	937 (1.8%)	+279	+29.8%
中 国	売上高	68,994	79,127	▲10,133	▲12.8%
	営業利益	2,483 (3.6%)	1,814 (2.3%)	+669	+36.9%
アジア	売上高	46,216	52,300	▲6,083	▲11.6%
	営業利益	1,483 (3.2%)	907 (1.7%)	+575	+63.4%
連結調整	売上高	▲6,794	▲8,265	+1,471	
	営業利益	172	266	▲93	
合 計	売上高	610,166	514,747	+95,418	+18.5%
	営業利益	16,009 (2.6%)	2,472 (0.5%)	+13,536	+547.4%

当期：2023/4～12
前期：2022/1～9

（）内は売上高比率を表示

セグメント別売上高と営業利益 支給品除く

11

単位：百万円

		2024年3月期 3Q実績	2023年3月期 3Q実績	増減	増減率
日 本	売上高 [支給品除く]	172,558	135,132	+37,425	+27.7%
	営業利益	8,672 (5.0%)	791 (0.6%)	+7,881	+995.6%
北 米	売上高 [支給品除く]	82,584	66,819	+15,765	+23.6%
	営業利益	1,980 (2.4%)	▲2,244 (▲3.4%)	+4,225	—
欧 州	売上高 [支給品除く]	29,846	25,371	+4,475	+17.6%
	営業利益	1,217 (4.1%)	937 (3.7%)	+279	+29.8%
中 国	売上高 [支給品除く]	52,757	55,932	▲3,174	▲5.7%
	営業利益	2,483 (4.7%)	1,814 (3.2%)	+669	+36.9%
アジア	売上高 [支給品除く]	13,077	12,198	+878	+7.2%
	営業利益	1,483 (11.3%)	907 (7.4%)	+575	+63.4%
連結調整	売上高	▲6,794	▲8,265	+1,471	
	営業利益	172	266	▲93	
合 計	売上高 [支給品除く]	344,029	287,188	+56,841	+19.8%
	営業利益	16,009 (4.7%)	2,472 (0.9%)	+13,536	+547.4%

当期：2023/4～12
前期：2022/1～9

（）内は売上高比率を表示

() 内は売上高比率 単位：億円

	2024年3月期 3Q実績		2023年3月期 3Q実績		増減	増減率
※1 トヨタグループ	4,946	(81.1%)	3,937	(76.5%)	+1,009	+25.6%
スズキ	535	(8.8%)	539	(10.5%)	▲4	▲0.7%
三菱自動車	172	(2.8%)	182	(3.5%)	▲10	▲5.5%
本田技研	74	(1.2%)	79	(1.5%)	▲4	▲5.8%
三菱ふそう	59	(1.0%)	64	(1.3%)	▲4	▲7.3%
※2 日産グループ	68	(1.1%)	54	(1.1%)	+13	+24.7%
富士フイルムBI	7	(0.1%)	9	(0.2%)	▲1	▲17.3%
その他	237	(3.9%)	281	(5.4%)	▲43	▲15.6%
合計	6,101	(100.0%)	5,147	(100.0%)	+954	+18.5%

※1 トヨタグループには、ダイハツ、日野自動車等を含む

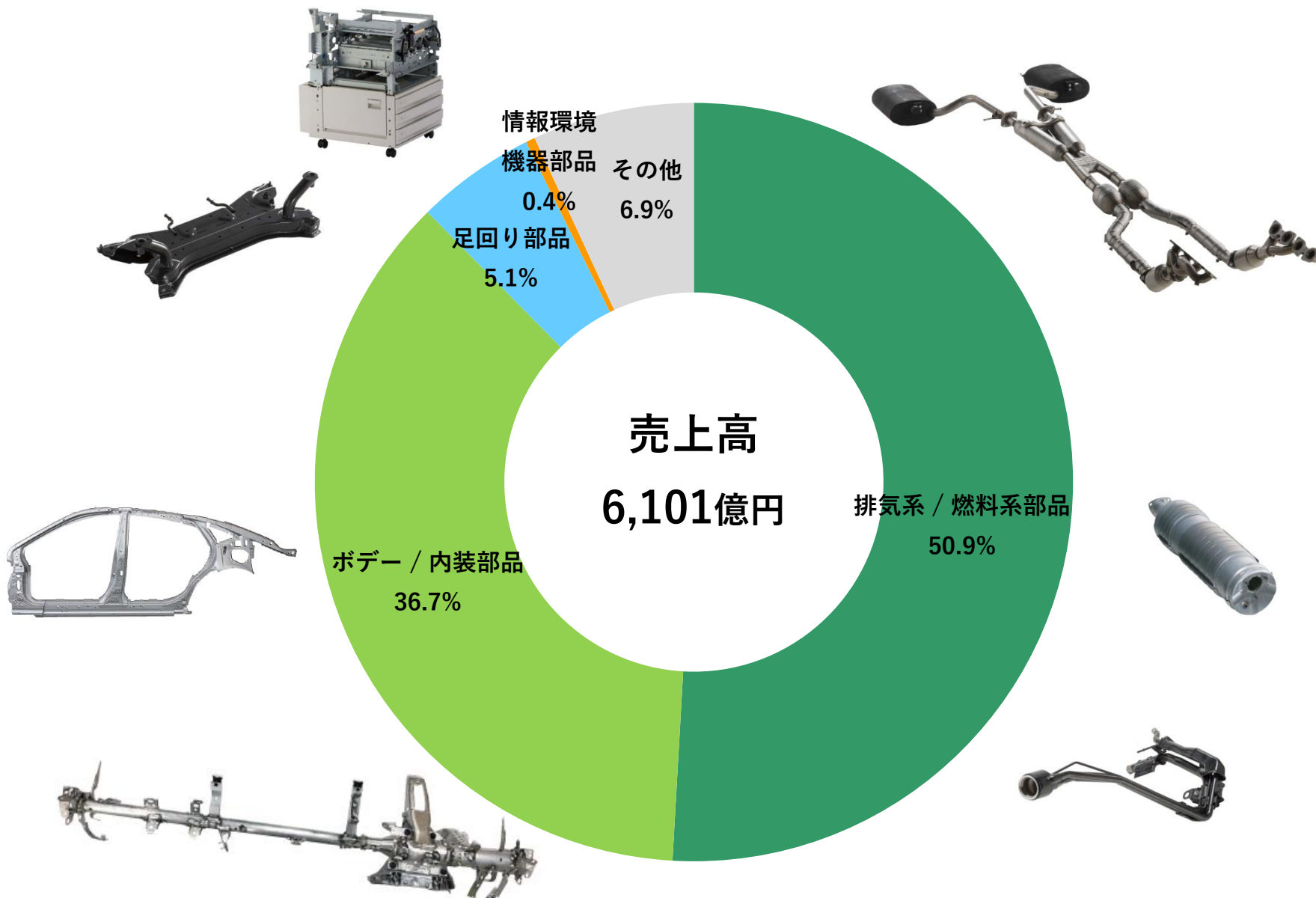
※2 日産グループには、日産車体を含む

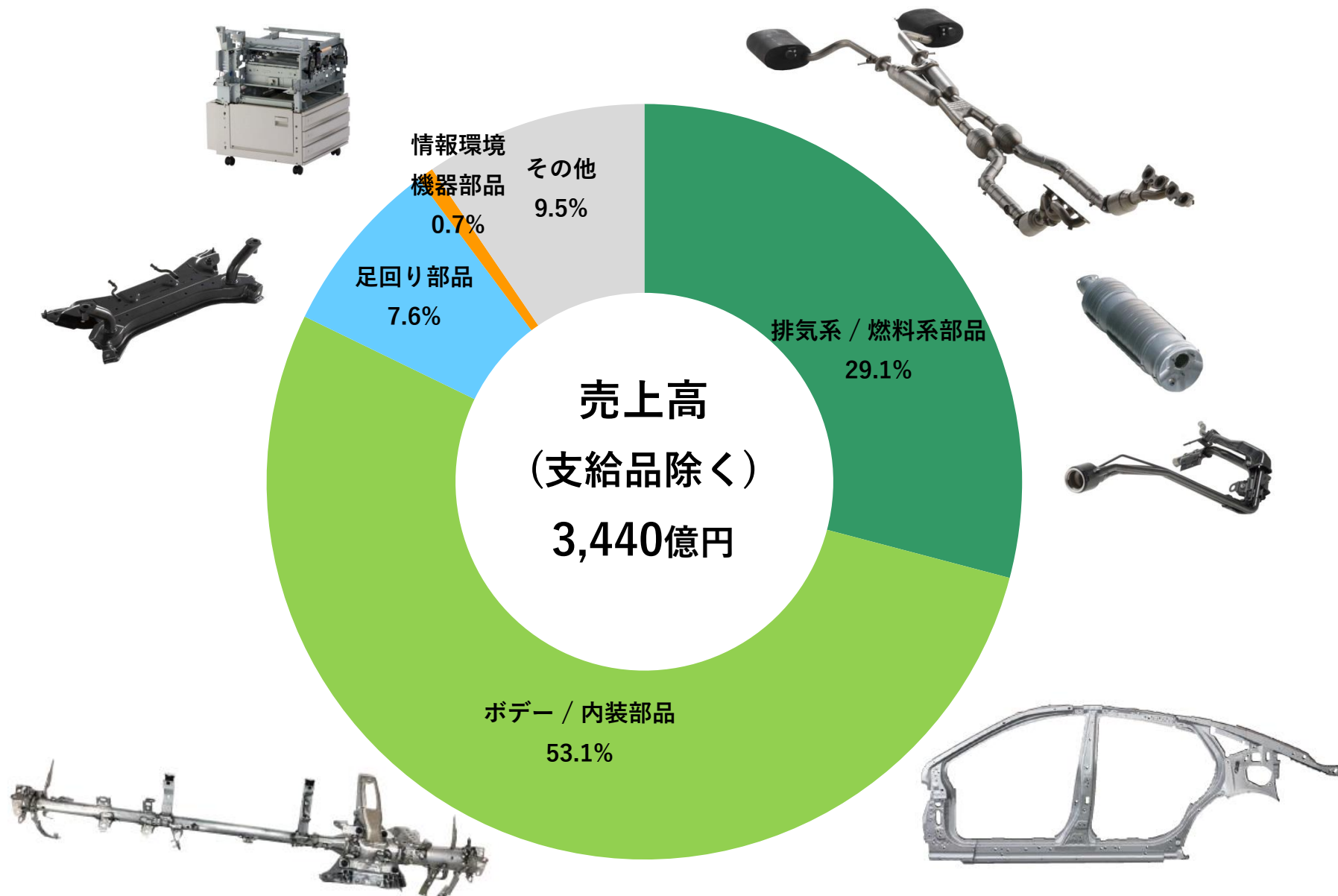
() 内は売上高比率 単位：億円

	2024年3月期 3Q実績		2023年3月期 3Q実績		増減	増減率
※1 トヨタグループ	2,884	(83.8%)	2,317	(80.7%)	+566	+24.5%
スズキ	172	(5.0%)	144	(5.0%)	+28	+19.5%
三菱自動車	79	(2.3%)	78	(2.7%)	+1	+1.3%
本田技研	53	(1.5%)	55	(1.9%)	▲2	▲4.9%
三菱ふそう	23	(0.7%)	25	(0.9%)	▲2	▲9.5%
※2 日産グループ	50	(1.5%)	41	(1.4%)	+9	+22.1%
富士フイルムBI	7	(0.2%)	9	(0.3%)	▲1	▲17.4%
その他	169	(5.0%)	199	(7.1%)	▲29	▲15.0%
合計	3,440	(100.0%)	2,871	(100.0%)	+568	+19.8%

※1 トヨタグループには、ダイハツ、日野自動車等を含む

※2 日産グループには、日産車体を含む



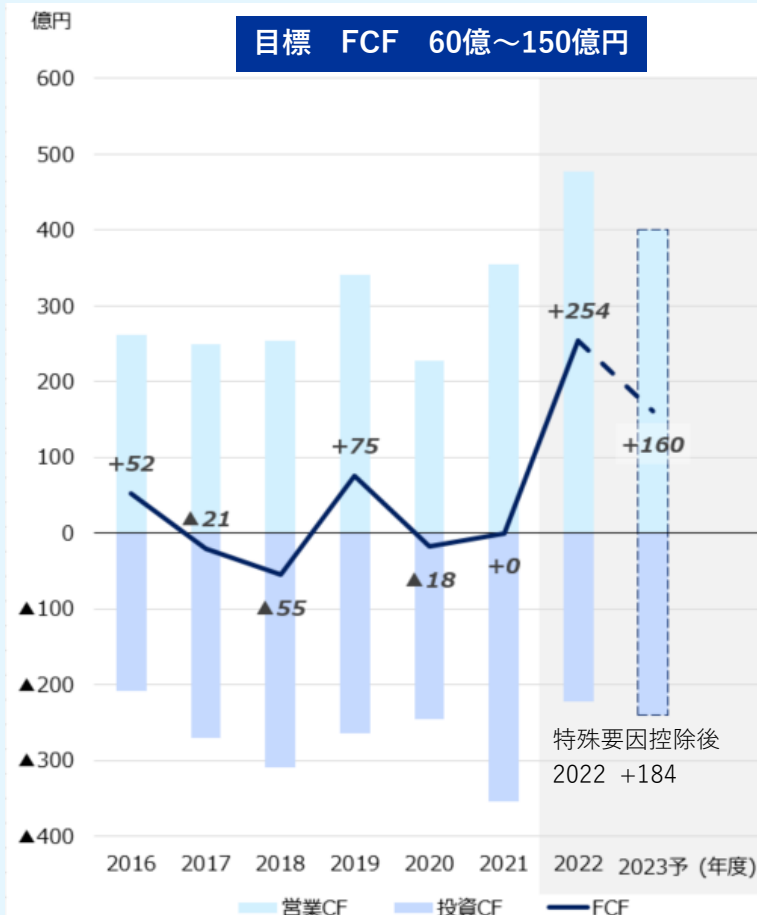


営業利益率



損益分岐点売上高を下げる活動の加速
変動費と固定費の両面から効率を上げる

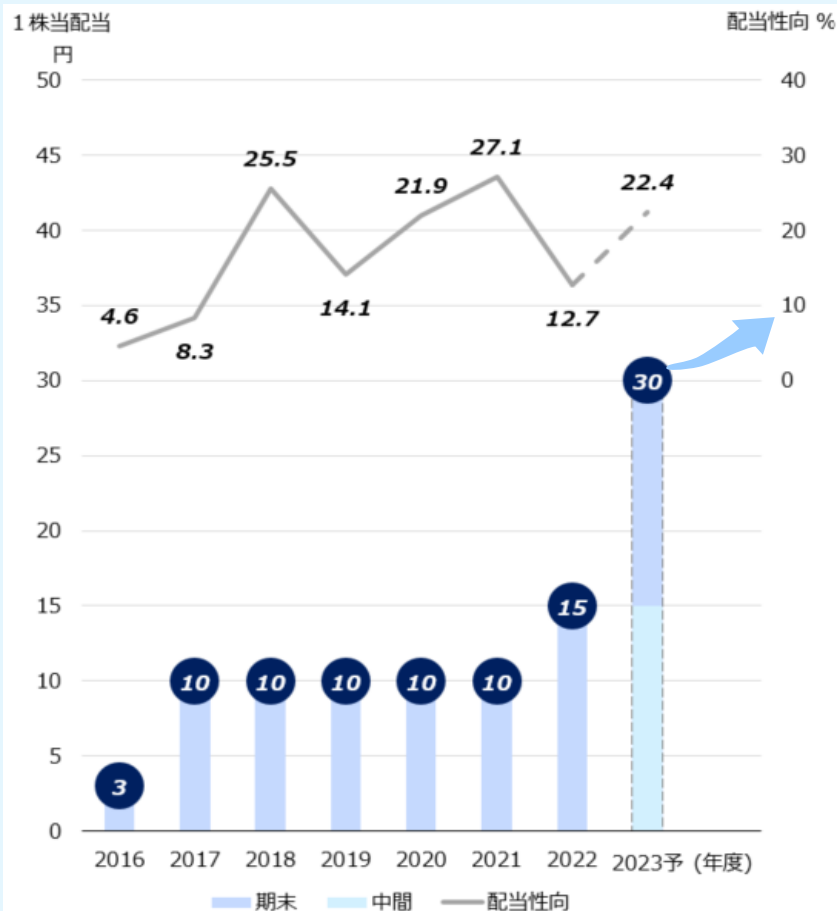
フリー・キャッシュ・フロー



安定的黒字化

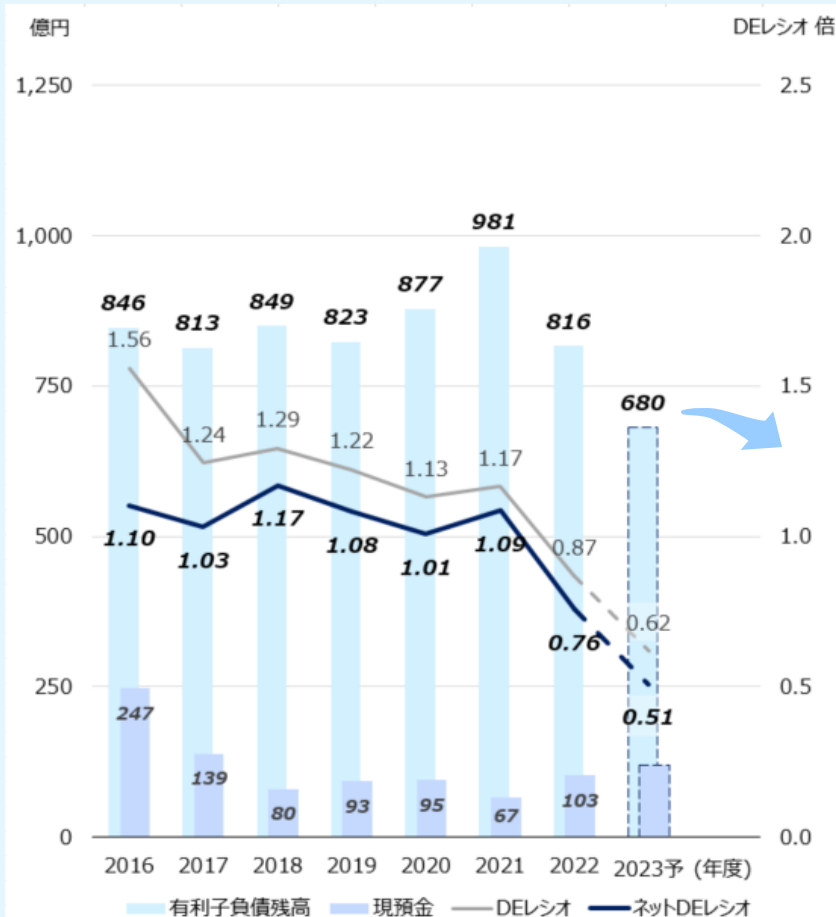
①株主還元、②有利子負債返済、③成長投資
(先行開発強化)に配分

①株主還元



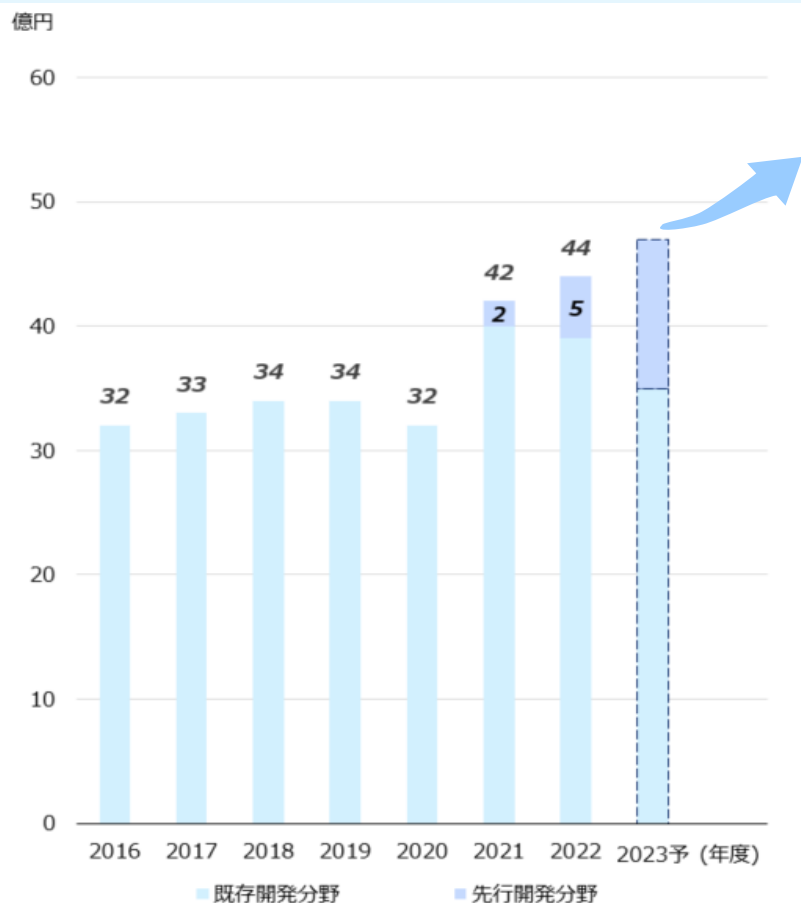
配当性向30%程度を目標と設定
 配当額の維持・向上に努める
 ※中間配当を15年ぶりに実施

②有利子負債返済



有利子負債の削減を継続
 グループ間の資金流動性を高め有利子負債圧縮

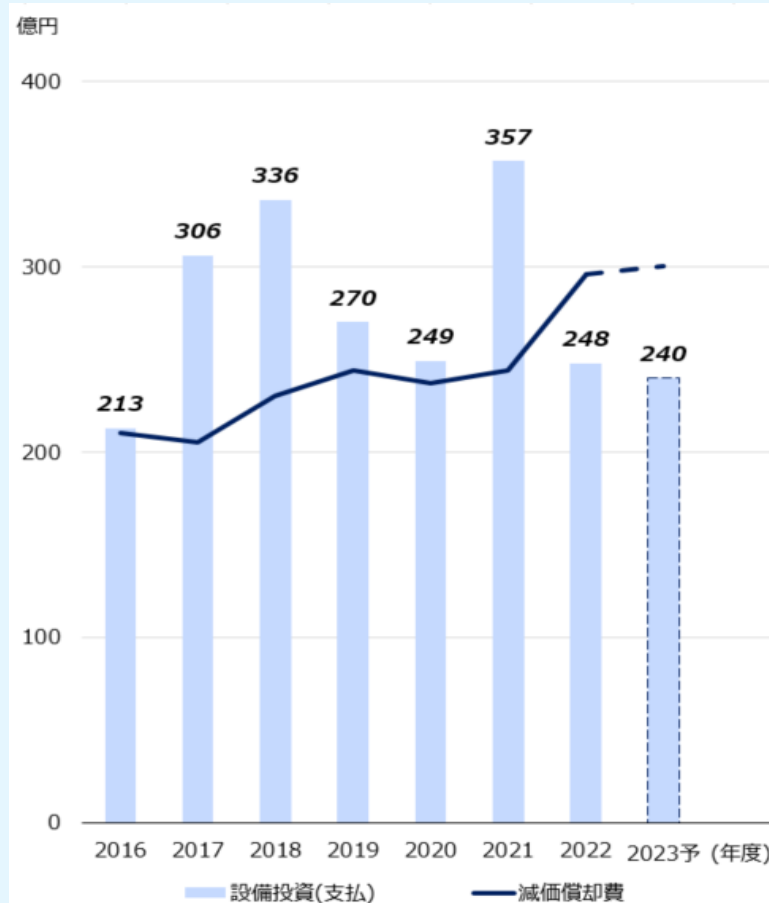
③成長投資（研究開発費）



実質売上高に対して1%程度の研究開発費を、
2~3%まで拡大

既存分野から先行分野へシフト

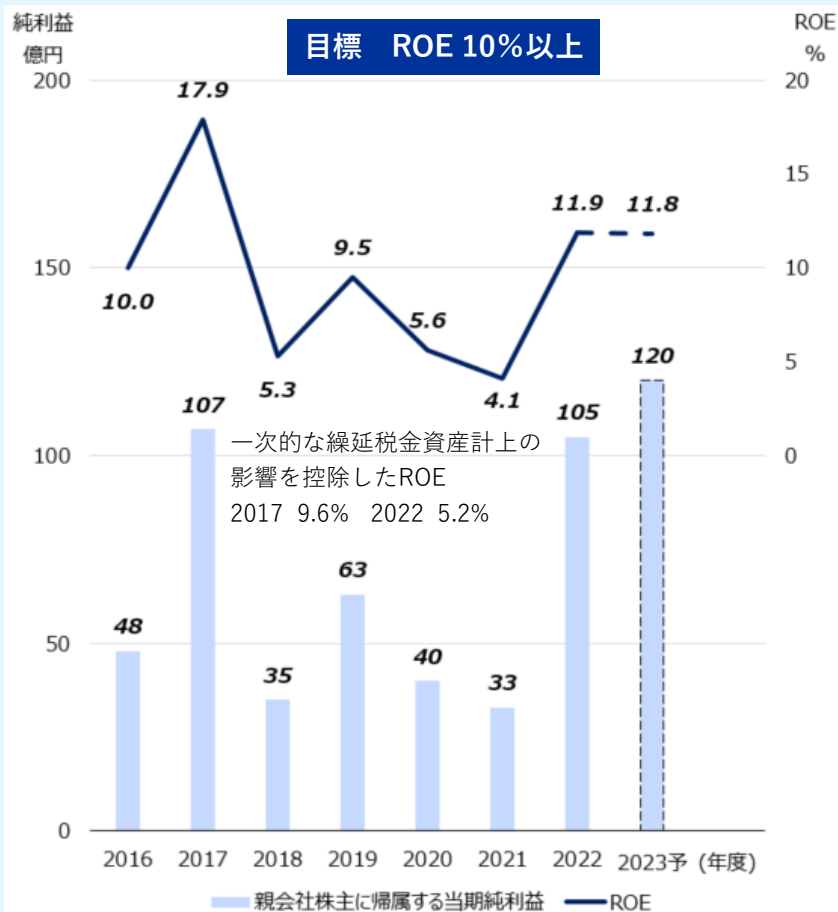
設備投資の状況



フリー・キャッシュ・フロー目標達成のため、
設備投資額の上限を250~300億円と設定

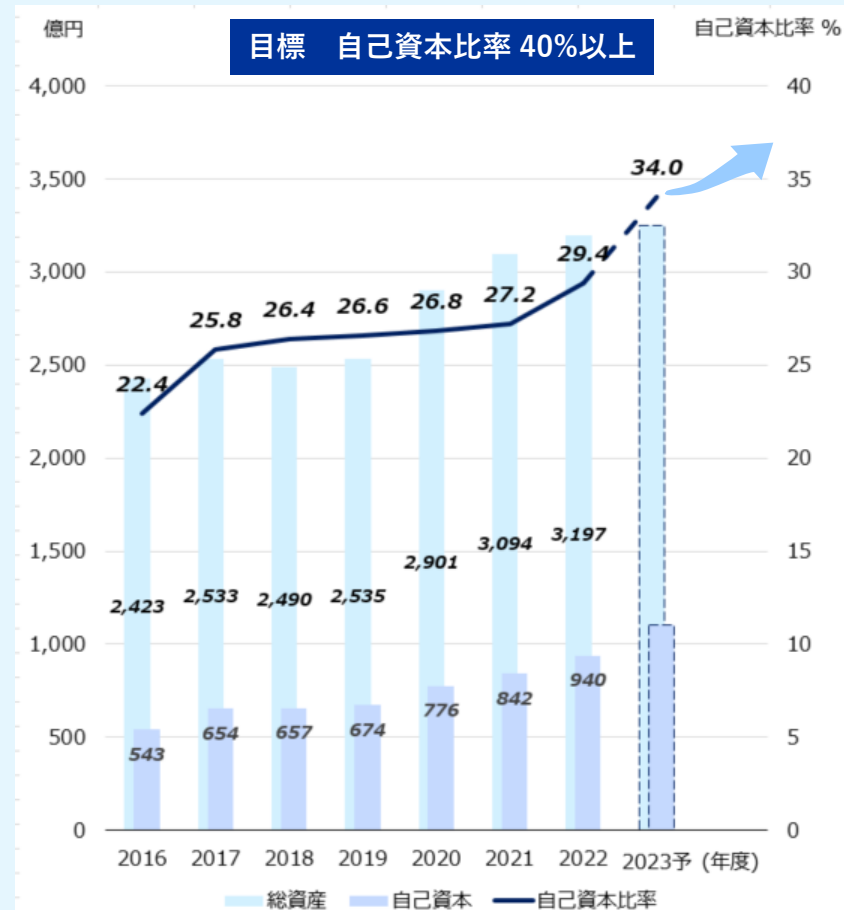
減価償却費の範囲内の投資を基本原則とする

ROE



ROE目標を「10%以上」と明確化
資本コストを意識した経営の実現に取り組む

自己資本比率



収益力を高め自己資本の強化を図る
棚卸資産と固定資産の回転率を高める

FUTABA

フタバ産業株式会社

<https://www.futabasangyo.com/>

【注意事項】

本資料に記載される当社（連結子会社を含む）の見通し等は、当社が現在入手している情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従って、これらの業績予想等のみにより全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるよう お願い申し上げます。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知ください。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社、連結子会社および持分法適用会社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

本資料に掲載のあらゆる情報はフタバ産業株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに、複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、一部の数値を億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。